



竹口大紀議員

### 来年度の施策の目玉は

町長 住民自治組織に力を入れる

#### 問

町長就任後、半年以上経過しているが、目立った施策がない。就任後には思ってもみない問題が出てきたり、思うような運営ができなかったりする場合がある。

- ① 予算の組み替えなどで、独自の施策がもっと実行できたのではないか。
- ② 来年度、どのような

事業を計画しているか。

③ 大山町独自の施策をアピールすることで、移住者・定住者の増加につなげるような考えはあるか。

④ 来年度、一番力を入れる事業は何か。

#### 答 森田町長



地域の課題をみんなで話し合う

① これまでの町政の取り組みの検証が第一。

その他、補正予算や臨時交付金でさまざまな事業を行った。

② 歳入の大きなウエイトを占める地方交付税の交付額が予想できない。

しかし、若者向けの町営住宅や分譲地の整備、拠点保育所の整備、住民自治組織の育成支援に取り組みたい。

③ 中山地区に、若者の定住促進につながる町営住宅の整備や、大山地区に若者向けの宅地分譲を計画している。

そこから、子どもが増えていくような方向性が出てくればと期待している。

④ 住民自治組織の育成をはじめ、地域の活力づくり等に力を入れたい。

### 3 中学校の合同活動は

柔軟に検討する

教育委員 長

#### 問

① 3校合同で部活動を行うことを、何か検討しているか。

② 部活動以外にも、授業・学校行事・国際交流等、1校で行うよりも3校で行った方が、相乗効果を得られるものがあるが、検討しているか。

③ 中学生のスポーツ振興等のために、町がクラブチームの設立等を検討するつもりはないのか。

④ 子どもの選択肢が狭くならないように、来年度はどのような検討や協

#### 答

伊澤教育委員長

① 運動部では、3年生が抜けて、1・2年生だけが人数がたりない部があるのが現状。

合同での大会出場や休日を利用した活動はできると考えるが、平日に行えば、移動手段や移動時間の問題と、管理の問題が生じる。

② 合同で行事を行うためには、事前の打ち合わせや練習が必要になるため負担が大きい。

国際交流についてはも



子どもに広い選択肢を

つと幅広い交流に発展できればと考えている。

いずれにしても、生徒数の減少で今までも同様の活動ができない場合には、学校と協議しながら行事等の合同実施も前向きに検討したい。

#### 答 山根教育長

③ 現状では難しいと思う。学校と保護者と生徒の要望をまとめるのは容易ではない。

④ 校長以下、保護者を含めて多くの人が問題視している。教育委員会も配慮したい。